

# 平成30年度 学力向上を図るための全体計画

墨田区立墨田中学校

## 学校教育目標

幸福な生涯を実現し、知識基盤社会を高い志をもって生き抜く人格と力量の修得のため、人間尊重の精神と社会貢献の精神を基調として、知育・徳育・体育の調和のある人間教育の具現化を目指し、次の教育目標を掲げる。

「自ら学び 心豊かで たくましい」

## 調査結果から

### 墨田区学力状況調査の結果から

#### ◇良い点

本校の平均正答率と目標値の関係を見ると、35の項目で上回っており、昨年度より1項目増加した。特に3学年では昨年よりも上回った項目が6つ増加した。

国語は全項目で目標値を上回っている。

#### ◆課題

第3学年と第1学年の理科の平均正答率が目標値を下回った。

平均正答率について全国の数値と比較した場合、社会、数学、英語は前年度と比較して改善した部分もあるものの、今後も継続して努力していく必要がある。

### 意識調査 (i-check) の結果から

「学校の授業以外に、平日(月～金)1日どれくらいの時間、勉強をしますか。(塾などでの勉強時間もふくみます)」については、第2学年、第3学年ともに全国の肯定率を上回り、それぞれ79.2、77.3であった。(全国は62.7、67.7)しかし、第1学年は63.9で、全国の74.2と比較して低い。今後増やせるようにしていく。

「土日や祭日など、学校が休みの日は、1日どれくらいの時間、勉強をしますか。(塾などでの勉強時間もふくみます)」については、昨年度と同じ学年と比較したところ、家庭学習時間は長くなっていて改善が見られた。しかし、全国と比較すると学習時間が短い生徒も多くいるため、これから土日の家庭学習時間も増やしていけるように工夫していく。

### 改善の方向性

特に理科については基礎的・基本的知識の定着を図るためにふりかえり学習や単元テストを行っていく。

また、全学年とも授業時における目標の明示、ICT機器の活用、家庭学習の充実、現在続けている事項を強化して継続し、さらなる向上を図っていく。授業に集中できる環境を作るために、10分休みや授業時間中などにも学年担当の教員が廊下について指導にあたっていく。

## 学力向上を図るための重点課題と取組

### 基礎・基本の定着

- 1 各教科で定期的に小テスト等を実施し、定着状況を把握する。
- 2 定期考査前および夏季休業期間中などに補充教室を充実させる。
- 3 生徒に授業評価アンケートを年間2回行い、その結果をもとに授業の改善を図る。
- 4 数学・英語において少人数指導を行い、生徒の理解度に合わせた授業を行う。

### 家庭学習の充実

- 1 小学校から継続して毎日1ページ学習する自主学習ノートの活用をし、毎日の学習習慣を確立するとともに教員で学習内容を確認し、助言していく。休日の学習量を確保できるように指導していく。
- 2 ふりかえりシートや、Web上でドリル学習できるe-ライブラリを活用し、生徒の習熟度にあつた学習をする。

### 読書活動の推進

- 1 各学級・学年で機会をとらえて読書活動を奨励する。今年度は読書量の調査の方法を工夫し、表彰等の機会を増やし、生徒の意欲を高められるようにする。
- 2 図書館を使った調べる学習コンクールや、ふれあい学習発表会、読書感想文の作成を一つの機会として、本に触れる時間を多く取るようにする。

### 学んだことをもとに表現する機会の設定

- 1 「学んだことをもとに表現する」ことに各教科、各領域で取り組む。話し合いや発表の場でのルールを作成し、それを全教科で統一する。
- 2 総合的な学習の時間に学んだことを保護者、地域に発表の場として、ふれあい学習会を行う。全員が発表する機会をもうける。